

令和7年度南丹市総合防災訓練に

参加してきました!!



看護部長、副看護部長の激励を受け出動する附属病院看護師と事務職員の精鋭7人たち（明治国際医療大学附属病院正面玄関）

9月28日（日）、まだまだ残暑で暑い日の早朝9時、附属病院の看護師と事務職員7名で構成された“災害医療チーム”が、園部公園スポーツ広場で開催されました「令和7年度南丹市総合防災訓練」に参加してきました。

想定訓練内容は、午前6時30分マグニチュード7の地震が発生し、園部町で震度6弱を、八木町、日吉町、美山町にかけては震度5強を観測。午前7時現在死者、行方不明者等は不明。震度6弱の園部町においては、家屋の全壊や半壊が多数見られ、火災も発生し、建物等の倒壊による道路の寸断や水道の破裂による交通の遮断等が出ているというものでした。

附属病院看護師は、救護所にて船井医師会の先生方と協力し、負傷者の緊急度と重症度に応じた応急処置を、事務職員は京都中部総合医療センターさんのDMAT（災害派遣医療チーム）とともに、園部消防署救急隊と連携し、家屋の倒壊による負傷者を病院救急搬送車にて病院へ搬送するという訓練を行いました。参加職員全員が一つひとつの動作を確認しながら、いつ起こり得るかかわからない有事に備え真剣に取り組みしていました。

今回参加した7名のメンバーを含む附属病院職員は、地域のみなさんの安心・安全のため

負傷者を病院救急搬送車で搬送する事務職員



救護所テント内で、船井医師会の先生と協力し、迅速に傷病者の応急処置を行う看護師